令和８年11月５日

福岡県内経済情勢報告

令　和　８　年　１１月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕
財務省 福岡財務支局 経済調査課
電話 092-411-9038

福岡県内経済情勢報告

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項　　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	**一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある**	→

（注）8 年 10 月判断は、前回 8 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

【各項目の判断】

項　　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	→
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	**緩やかに持ち直しつつある**	→
雇用情勢	持ち直しのテンポが緩やかになっている	**持ち直しのテンポが緩やかになっている**	→
設備投資	8 年度は減少見込み	**8 年度は減少見込み**	→
企業収益	8 年度は減益見込み	**8 年度は減益見込み**	→
住宅建設	前年を上回っている	**前年を下回っている**	↘
輸出	前年を上回っている	**前年を上回っている**	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や令和 8 年熊本地震等の自然災害、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店販売は、国内中間所得層の節約志向の高まりがみられるものの、国内外のラグジュアリー需要が好調なことから、前年を上回っている。スーパー販売は、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりがみられるものの、値上げ効果により客単価・売上高は、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、値上げ効果等により前年を上回っている。乗用車販売は、軽乗用車は前年を下回っているものの、普通車、小型車は前年を上回り、全体としては前年を上回っている。ドラッグストア販売は、食料品が好調のほか、新規出店の効果もあり前年を上回っている。家電大型専門店販売は、前年を上回っている。ホームセンター販売は、前年を上回っている。宿泊は、堅調な需要に支えられ、おおむね横ばいとなっている。

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

輸送機械の自動車は、令和8年熊本地震による一時的な影響がみられたものの、国内外向けの需要は堅調であり、横ばい圏内で推移している。はん用・生産用機械は、AI・データセンター関連需要や自動化・省力化投資を背景に、持ち直している。電子部品・デバイスは、一部で需要の回復がみられるなど、緩やかに持ち直している。鉄鋼は、建築資材の需要が伸び悩んでいるものの、AI・データセンター向け需要の回復により、横ばい圏内で推移している。

■ 雇用情勢 「持ち直しのテンポが緩やかになっている」

有効求人倍率は、おおむね横ばいとなっている。新規求人数は、前年を下回る状況が続いている。企業の人手不足感は続いている。

■ 設備投資 「8年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年7-9月期

8年度は、製造業は前年比 3.6%の減少見込み、非製造業は同 2.0%の減少見込みとなっており、全産業では同2.4%の減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「8年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年7-9月期

8年度は、製造業は前年比 7.2%の減益見込み、非製造業は同 3.1%の減益見込みとなっており、全産業では同4.2%の減益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、給与住宅は増加しているものの、持家、貸家が減少していることから前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている」

輸出（円ベース）は、前年を上回っている。なお、輸入（円ベース）は、前年を上回っている。

（その他項目）

○ 企業の景況感を法人企業景気予測調査（8年7-9月期）の景況判断BSIでみると、8年7-9月期は「下降」超となっている。先行きについては、8年10-12月期は「上昇」超の見通しとなっている。